

県大・市大 公開講座 2016

県立広島大学 × 広島市立大学
連携公開講座

■ 英語圏の風刺漫画を通じて2015年を振り返ろう
県立広島大学 准教授 スチュワート・ロナルド

● グローバル言語としてのアラビア語
広島市立大学 教授 宇野 昌樹

■ 日本人はラテン語・ポルトガル語をどのように受容したか
～キリシタン時代から現代の南米移民まで～
県立広島大学 准教授 小川 俊輔

● 隣国ロシアとその言葉：対露イメージの変動とロシア語の特徴
広島市立大学 准教授 シュラトフ・ヤロスラフ

10/7 10/14 10/21 10/28

言語を通じて 世界を知る

開始4年目を迎える本年度は、多言語・多文化についての教育プログラムを持つ本校の特色を活かし、諸外国の文化や歴史、言語を通してその国の魅力や特長を引き出す講座「言語を通じて世界を知る」をテーマに開催。広島市立大学と県立広島大学から各2名の講師がそれぞれの専門知識を活かし、楽しく、そして役に立つ講座を展開します。

対 象 | どなたでも

受講料 | 無 料

定 員 | 40 名

10月7日 - 10月28日 (毎週金曜日) 18:30 - 20:00

会場：広島市立大学サテライトキャンパス [大手町平和ビル9階]

申込方法 ハガキ、FAX または email により、

①郵便番号、②住所、③名前(ふりがな)、④年齢、⑤電話番号

をご記入の上、広島市立大学社会連携センター「言語を通じて世界を知る」係宛にお申し込みください。

※ 締切：平成28年9月16日(金) [必着]

※ 申込多数の場合は抽選とし、受講の可否は申込締切日以降に通知します。

申込・問合せ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学社会連携センター「言語を通じて世界を知る」係

TEL：082-830-1764 FAX：082-830-1555

E-mail：office-shakai@office.hiroshima-cu.ac.jp

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

講座の内容 [全4回]



● 10月7日 隣国ロシアとその言葉：対露イメージの変動とロシア語の特徴 広島市立大学 准教授 シュラトフ・ヤロスラフ

日本におけるロシアのイメージは、時代によって「敵国」から「同盟国」までの激変を繰り返し、複雑なものとなっています。本講座では、日本の対露観の変動を整理した上、総合的言語であるロシア語の位置付けおよび特徴について解説し、歴史学と言語学のツールを通じて日露関係と隣国ロシアを紹介します。

■ 10月14日 日本人はラテン語・ポルトガル語をどのように受容したか ～キリシタン時代から現代の南米移民まで～ 県立広島大学 准教授 小川 俊輔

「日本語の歴史は外国語の受容史である」と断言できるほどに、日本人は多くの外国語を日本語の中に取り込んできました。この講座では、特にラテン語とポルトガル語の受容史に焦点を当て、《外来文化との接触と受容》という視点から「日本語の歴史」を紐解いてみたいと思います。今日の南米日系人の言語、最近とみに増えつつある「海外進出する日本語」についても紹介する予定です。

● 10月21日 グローバル言語としてのアラビア語 広島市立大学 教授 宇野 昌樹

アラビア語は、現在アラブ連盟に加盟する22カ国の公用語で、国連の公用語の一つにもなっていますが、歴史的に見ても中世ヨーロッパ世界に大きな影響を与えています。また、この言語はイスラームの聖典『コーラン』で使用されていることから、世界人口の5人に1人を占めるムスリムにとっても重要なものとなっています。この講座では、アラビア語が果たしてきたこのような歴史的役割について概観します。

■ 10月28日 英語圏の風刺漫画を通じて2015年を振り返ろう 県立広島大学 准教授 スチュワート・ロナルド

英語圏の国では一コマ政治漫画および世相漫画はニュースについてコメントを提供する表現として広く愛されています。これらの言語と絵の密接な関係からなる表現を読むことによって、言葉だけではない英語圏の文化との対話を、比較文化的に楽しむことができます。こうした漫画の例を通じて昨年のニュースを振り返り、漫画の見方を読み解きながら、そこにある異文化的な面を一緒に発見しましょう。

広島市立大学サテライトキャンパス

大手町平和ビル 9階

〒730-0051

広島市中区大手町四丁目1-1

「市役所前」電停・バス停から徒歩すぐ >>>>>

